

救急科

臨床研修期間(2年間)	
病院名 (59病院)	医療圏
横浜労災病院	横浜
昭和大学藤が丘病院	
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	
横浜旭中央総合病院	
菊名記念病院	
汐田総合病院	
昭和大学横浜市北部病院	
済生会横浜市東部病院	
済生会横浜市南部病院	
横浜南共済病院	
横浜栄共済病院	
横浜市立大学附属病院	
横浜市立みなと赤十字病院	
横浜市立大学附属市民総合医療センター	
横浜中央病院	
けいゆう病院	
横浜医療センター	
横浜市立市民病院	
国際親善総合病院	
戸塚共立第1病院	川崎北部
東戸塚記念病院	
聖隷横浜病院	
帝京大学医学部附属溝口病院	
聖マリアンナ医科大学病院	
川崎市立多摩病院	川崎南部
新百合ヶ丘総合病院	
関東労災病院	
川崎市立川崎病院	
日本鋼管病院	
川崎協同病院	
川崎市立井田病院	
日本医科大学武蔵小杉病院	
川崎幸病院	
相模原病院	
北里大学病院	
相模原協同病院	
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦
横須賀共済病院	
横須賀市立市民病院	
湘南鎌倉総合病院	
大船中央病院	
藤沢市民病院	湘南東部
湘南藤沢徳洲会病院	
藤沢湘南台病院	
湘南東部総合病院	
茅ヶ崎市立病院	
平塚市民病院	湘南西部
平塚共済病院	
東海大学医学部付属病院	
伊勢原協同病院	
秦野赤十字病院	
大和市立病院	
海老名総合病院	
厚木市立病院	県央
東名厚木病院	
湘南厚木病院	
小田原市立病院	県西
山近記念総合病院	
神奈川県立足柄上病院	

専門医研修期間(標準3年間)		
基幹施設名(18病院)	医療圏	基幹・連携施設名
横浜労災病院	横浜	済生会横浜市東部病院 関東労災病院
済生会横浜市東部病院	横浜	横浜市立大学附属病院 横浜労災病院 平塚市民病院 済生会神奈川東部病院 横浜市立大学附属市民総合医療センター
横浜医療センター	横浜	横浜市立大学附属市民総合医療センター 横浜市立大学附属病院 横浜労災病院
横浜市立市民病院	横浜	横浜市立大学附属市民総合医療センター 北里大学病院 東海大学医学部付属病院 聖マリアンナ医科大学病院
横浜市立みなと赤十字病院	横浜	けいゆう病院 聖隷横浜病院 菊名記念病院 東戸塚記念病院 横浜総合病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	済生会横浜市東部病院 横浜南共済病院 横浜市立大学附属病院 横須賀共済病院 横須賀市立うわまち病院 藤沢湘南台病院 藤沢市民病院 済生会横浜市南部病院 国際親善総合病院 横浜市立市民病院 横浜医療センター
横浜市立大学附属病院	横浜	横浜市立大学附属市民総合医療センター 北里大学病院
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	聖隷横浜病院 横須賀市立うわまち病院 湘南鎌倉総合病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 川崎市立川崎病院 日本医科大学武蔵小杉病院 川崎市立多摩病院 横浜市立市民病院 麻生総合病院
新百合ヶ丘総合病院	川崎西部	横浜栄共済病院 菊名記念病院 平塚共済病院 横浜総合病院
川崎市立川崎病院	川崎西部	平塚市民病院 川崎市立井田病院 日本医科大学武蔵小杉病院 聖マリアンナ医科大学病院
日本医科大学武蔵小杉病院	川崎西部	川崎市立川崎病院 川崎幸病院 聖マリアンナ医科大学病院 関東労災病院
北里大学病院	相模原	横浜市立大学附属病院 横浜市立市民病院 横浜旭中央総合病院 相模原病院
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	横浜市立大学附属病院 横須賀市立市民病院 川崎市立多摩病院 聖マリアンナ医科大学病院 横浜医療センター
湘南鎌倉総合病院	横須賀・三浦	藤沢市民病院 湘南藤沢徳洲会病院 大和徳洲会病院 葉山ハートセンター 湘南厚木病院 神奈川県立精神医療センター
藤沢市民病院	湘南東部	横浜市立大学附属市民総合医療センター 藤沢湘南台病院 湘南藤沢徳洲会病院 茅ヶ崎市立病院

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)				
医療圏2	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
1401横浜北部	横浜労災病院	650	小児科: 当科では専攻医(1年目)を数名採用してきたが、新専門医制度が開始となり、当科族時の採用枠への応募が0となっており、現在は横浜市下小児科から派遣のみとなっております。	小児科: 「最良の小児プライマリーケアの提供」「母と子にやさしい周産期医療」「小児科医の育成」を3本柱としている。また、小児アレルギー、小児内分泌、小児外科の常勤医がいることから幅広い小児プライマリーケアを習得することができる。当直も小児科当直と新生児当直の2当直体制をとっており新生児医療にも十分な対応ができるようになっている。小児の超音波診断で有名な徳山中央病院小児科部長のもとに1ヶ月超音波研修に派遣している。
1401横浜北部	汐田総合病院	266	当院の診療圏(横浜市鶴見区)の人口が高齢者も含め増加しており、今後更なる医療需要を有する地域であるため。	地域に根ざした病院として、急性期・救急機能を備えながらも、回復期病床を充実させ、地域住民の健康を守ります。無差別・平等の地域包括ケアの拠点として、近隣の医療機関・施設と連携し、地域住民とともに歩んでいます。
1401横浜北部	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まることと予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
1401横浜北部	済生会横浜市東部病院	562	当院は横浜市東部地域の中核病院です。救命救急センター、小児救急、参加救急などを行っています。症例数、指導医数も十分であり、地域枠の医師を育成するのに協力させていただきたいと考えております。当院はすべての診療科を有する病院であり、若い医師の経験と研修に適すると考えます。一方で病診連携や地域医療なども学ぶことができると考えます。	鶴見区、神奈川区の地域中核病院で、救命救急センター中心に24時間365日応需のER型救急医療を提供しています。多数の症例を経験することができ、若い医師の育成ができると考えています。 産科:年間出産数1,319件と多くの出産を行っています。 小児科:24時間体制の診療を行っています。 外科:手術件数5,383件と多くの手術を行っています。 麻酔科:手術件数が多く、心臓手術〜日帰り手術まで多数症例があります。 内科:プライマリケア、専門内科的疾患、内科救急など多数の症例を研修できます。 救急科:ER型の救急で、1次〜3次救急を行っています。外傷センターも県内で認定されています。
1401横浜北部	菊名記念病院	218	当院は横浜市方東部に位置する中規模病院で、地域に根ざした医療を行っています。神奈川県の地域医療へ直接寄与する医師の専門医取得といった要望にも応えたいと考えています。医師にとって有益な仕組みを準備すると共に、多くの症例を経験できるように体制を整えています。	(1)急性期病院で学ぶ救急医療:当院は救急車搬入件数が年間8,000台前後、1日の平均は20台前後となっている。急病と外傷の比率は7:3となっており、その症状は軽症から重症までさまざまである。病棟よりも迅速な対応と鑑別診断能力が求められるため、自分で考えて進めていく力が身に付けられます。 (2)救急での幅広い経験:長期にわたり継続して救急外来を経験するため、週1回の救急当番制を行うことで、さまざまな症例を診る事が出来ます。
1402横浜西部	公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター	726		
1402横浜西部	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。 2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りたいです。

東海大学医学部付属病院	湘南西部	相模原協同病院
		平塚市民病院
		小田原市立病院
		茅ヶ崎市立病院
		東名厚木病院
		海老名総合病院
		横浜国立大学横浜市東部病院
平塚市民病院	湘南西部	済生会横浜市東部病院
海老名総合病院	県央	湘南鎌倉総合病院
		小田原市立病院
		東海大学医学部付属病院

				の1つつしいま。ヒューマンリソースの確保が重要。
1402横浜西部	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	367	<p>・当院は年間4,000件を超える救急車を受け入れており、横浜市内の救急医療(地域医療)に貢献している</p> <p>・当院は年間9,800件を超える紹介患者を受け入れており、横浜市内の地域医療に貢献している</p> <p>・地域医療に貢献し続けるため病院として医師の確保に努めているが、医師確保が年々困難になっていることもあり、地域枠医師の受け入れを希望したい</p>	<p>・横浜の主要エリア至近に立地する病院</p> <p>・30診療科を有しながら診療科間の垣根が低く、仕事がしやすいのが特徴</p> <p>・全国最大規模の社会福祉法人が運営する病院のため福利厚生や各種制度が充実</p> <p>・健康経営優良法人2023の大規模法人部門・ホワイト500(※)に認定されるなど、職員の健康を重視した経営管理を実施</p> <p>※健康経営優良法人制度のひとつで、従業員の健康管理をコストではなく、戦略的な経営投資として捉えて実践している法人を顕彰する制度。その中でもホワイト500は上位の500法人だけが認定される</p>
1402横浜西部	社会福祉法人親善福祉協会 国際親善総合病院	287	<p>大学医局に派遣を依頼しているが充足されず欠員が生じているため。</p> <p>一部直接採用のみの科もあるが不十分。</p>	<p>二次救急病院としてcommon diseaseから緊急手術(外科、脳外科、循環器、産科、透析等)を要する疾患まで幅広く扱っている。緩和ケア病棟を有している。地域の医療機関と関係が密。</p>
1403横浜南部	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	674		
1403横浜南部	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	565		<p>小児科:一般診療科から専門診療、新生児・周産期医療まで幅広く研修が可能です。小児救急も行っていきます。しっかり勉強する時間も作れます。デメリットとして、当院は小児研修基幹施設ではないので、後期研修施設として小児科専門医を取得するためのキャリアアップにはなりません。</p>
1403横浜南部	横浜みなと赤十字病院	634	<p>産科:キャリア15年以上の医師が大半を占める。周産期分野を中心に、良性腫瘍手術、悪性腫瘍手術、内視鏡下手術、膣式手術、ホルモン治療それぞれに長けた医師が在籍しており、その知識と経験を若手医師に伝えたいため。また若手医師が加入することによりさらに活性化した議論を組みかわせる可能性が高く、受け入れを希望する。</p>	<p>産科:当院は地域周産期母子医療センターであり、またがん拠点病院でもある。そのため多くのハイリスクを含めた分娩や悪性腫瘍患者を診られる。分娩数も多く、帝王切開術、吸引分娩、鉗子分娩を多く経験出来、また無痛分娩も行っている。悪性腫瘍は放射線治療法、化学療法に加え、分子標的治療も行える。また、膣式手術や内視鏡下手術を含めた良性手術症例も多く、更年期症状や月経困難症等に対するホルモン療法も行っている患者も多く診られる。生殖医療は人工授精まで行っており幅広い経験と知識を共有することが出来る。</p>
1403横浜南部	横浜掖済会病院	151	<p>当院は、2024年に移転新築を計画しており、より一層地域社会の一員として地域の医療に責任を持つ医療機関としての役割を自覚し、今後さらなる医療提供体制の充実を目指している為、地域枠医師の受け入れを積極的に進めています。</p>	<p>当院は1896年(明治29年)創立の歴史のある病院です。元来は船員の方の為の病院でしたが、現在は地域の住民の皆様の医療の充実及び健康の増進に尽力し、社会福祉面でも貢献しています。これからの、地域包括ケアシステム(医療と介護の連携)に積極的に取り組んでいます。</p> <p>特に消化器内科・血液内科・呼吸器内科及び消化器外科志望の医師が最適である。</p>
1403横浜南部	済生会横浜市南部病院	500	<p>横浜市内南部地域の医療提供体制を維持し続けていくために受け入れを希望します。</p>	<p>横浜市南部地域の基幹病院として31の診療科と約150名の常勤医師を擁しており、日々高いレベルの医療を提供しつつ、また同様に高い教育水準を維持しております。</p> <p>一方、医師働き方改革の対応をはじめ(労働時間と自己研鑽の区別、宿日直許可申請、当直明けの扱い)、他にも妊娠・子育て中の医師の当直免除や短時間勤務制度等の制度が充実しております。パルパ育休の取得率が対象者の50%以上いるなど、ライフステージに合わせた専門研修を行うことができます。</p> <p>なお、当院は横浜市立大学からの派遣医師がほとんどなので、当院を希望する医師については、同じ県内大学同士なので近いリレーションシップを構築することが可能です。</p>
1404川崎北部	医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院	563	<p>希望する診療科それぞれにおいて人員体制を強化し、診療体制を充実させ、その中で若手医師を育成し、神奈川県内の地域医療に貢献したいと考えています。</p>	<p>「地域医療への貢献」、「高度先端医療の実践」、「最良の安心を得られる医療」を目標に掲げ、救急患者を積極的に受け入れており、様々な救急疾患に対応できる能力を養うことができます。また最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、がん診療にも貢献しています。常勤医師210名超体制のもと、研修体制が充実しており、働き方改革に沿った勤務ができます。</p>
1405川崎南部	日本医科大学 武蔵小杉病院	372	<p>神奈川県内の救急医はまだ不足しています。</p> <p>当院救命救急センターでは現在7名の救急医が川崎市中部地区中心に年間1,200例の3次救急の重症患者に対応していますが、増員できれば2次救急を含めさらに救急患者を受け入れることが可能となります。</p> <p>また今般の働き方改革に順応した勤務体制を構築する必要があるには人員の確保が必要ですが、現在の人員体制では時間外を中心に救急体制の維持が困難となることと予想されます。川崎市の救急医療体制維持のためにも地域枠医師の受け入れを希望します。</p>	<p>当院は救急科専攻医プログラムの基幹施設として、救急科専属医7名のうち救急科専門医6名、救急科指導医4名と十分な指導体制と、年間受け入れ救急症例 3次救急1200例、2次救急3500例と豊富な症例により、救急専門医資格を取得するうえで十分な臨床経験を積むことができます。</p> <p>さらに連携施設である日本医科大学高度救命救急センターをはじめ、ドクターヘリを擁する日本医科大学千葉北総病院など合計11の連携研修施設での研修も可能です。</p> <p>また当院はドクターカーによる病院前医療やDMAT(日本DMAT、神奈川DMAT、川崎DMAT)等による災害医療にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>病院としては大学附属病院として高い治療水準としっかりした教育体制を有しており、各科の救急疾患も十分経験することができます。</p> <p>詳細は以下のプログラムをご覧ください。</p> <p>救急医を志す先生は是非私たち日本医科大学武蔵小杉病院救命救急科と一緒に働きましょう。お待ちしております！</p> <p>https://www.jikei.ac.jp/education/graduate/2023/05/1405/</p>

				https://nms-kosugi-eccm.com/wp-content/uploads/2022/03/MKG 専門医プログラム.pdf
1405川崎南部	日本鋼管病院	395	診療体制強化のため。 地域に根付いた、長く勤務いただける医師を確保するため。	当院は開設以来85年間に渡り川崎市川崎区で地域に根ざした運営を続けている。急性期と地域包括ケア病棟からなる二次救急病院です。 内科は後期研修プログラムを有し、専門医を目指す医師が切磋琢磨しています。
1410相模原	北里大学院	1140	○ 総合診療部指導医数は、1名。総合診療内科指導医数は2名在籍している。(総合診療部) ○ 病院総合診療及び地域診療(在宅を含む)を含めた教育指導体制があり、地域枠医師の希望があれば受け入れたい。(総合診療部)	○ 大学院内科総合外来における外来研修を受けることができる。(総合診療部) ○ 大学院総合診療部と連携している在宅診療施設や、療養病院での研修および漢方外来研修や緩和センターにおける研修も可能。(総合診療部)
1410相模原	JA神奈川県厚生連 相模原協同病院	400	相模原市内では、内科二次・外科二次に対応できる病院が少なく、救急科・総合内科を新設し一括して対応できる体制を整えました。それに伴い救急患者受入手術件数も増加し、現在人員が充当できていないため、受入を希望します。	相模原市では救急患者の受入が当院に集中しており、年間8,000台以上の救急車を受け入れており、脳卒中センター新設により手術件数も増加しております。今後も救急に特化した病院作りを推進して参ります。
1410相模原	独立行政法人国立病院機構 相模原病院	458	相模原病院は免疫異常(リウマチ、アレルギー)高度専門医療で、全国に2か所のアレルギー疾患中心拠点(他国立成育医療研究センター)に指定されています。また、神奈川県の中核病院として、がん診療連携指定病院、災害協力病院、地域医療支援病院といった役割も担っています。このため、初期研修に引き続いて神奈川県内で活躍する後期研修医の確保・教育に貢献したいと考えております。	当院は世界で一番多くの食物アレルギーの患者さんを診療しています。 アトピー性皮膚炎、気管支喘息、アレルギー性鼻炎など他のアレルギー疾患も多数診療しています。当院小児科ではアレルギー疾患に関する専門的な知識を学ぶことが可能です。また、小児一般疾患に関しては相模原市の二次医療の当番の半分を引き受けており、幅広い疾患を見る事が可能です。
1406横須賀・三浦	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院	417	症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。 内科・産婦人科系は医師数が充分とは言えず、二次医療圏の医師数の状況を踏まえても更なる増員が必要であると考えます。小児科に関しては、地域周産期母子医療センターであることから、より高度な医療の提供が必要であり、更なる医師の確保が必要であると考えます。	三浦半島80万人医療圏の中の中核的な病院です。 救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。 派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。
1406横須賀・三浦	横須賀共済病院	740	(内科)地域枠医師が各医局に入局後の場合に受入れ病院になることにより、人事異動の可能性が広がること。 (小児)県内、特に横須賀地域の医療に貢献してくださる志をお持ちの方に来ていただきたい。 (救急)地域医療を担う実践ができます。 (耳鼻)以前から医局からの医師の派遣で医師が確保されているが十分ではない。	(内科)急性期医療の経験ができる。呼・循・消・腎・脳神経・血の各科サブスペシャリティの指導施設になっている。 (内科)周産期医療に力を入れており、NICUが充実しています。一般小児領域でも幅広く診療を行っています。 (救急)2次～3次までの幅広い救急症例を経験できます。また、救命救急センターで集中治療管理も行っています。 (耳鼻)三浦半島の中核病院であり、自然環境の良さ、症例数が多く、数多くの症例を経験できる。
1406横須賀・三浦	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	神奈川県を継続して担う人材を確保・育成したい為。	超急性期病院として24時間、365日すべての救急車取容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。 現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー・陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。
1407湘南東部	藤沢市民病院	536	—	—
1407湘南東部	一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院	330	地域医療へ質の高い医療の提供を継続して行い、若手医師を育成して神奈川県を安心安全に貢献する為。	手技検査など指導のもと、専攻医には主治医として多くの経験と治療計画の決定をして頂きます。コンサルタントがしやすい環境でありますので、医師、看護師、医療技術者との連携がスムーズに行えます。
1407湘南東部	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
1407湘南東部	茅ヶ崎市立病院	401	—	—
1408湘南西部	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。

1408湘南西部	東海大学医学部付属大磯病院	312		
1408湘南西部	平塚市民病院	416	当院においては、医師不足に困窮している診療科があります。また、救急車搬送患者数は、10,703人(令和4年度)と全国的に見ても上位に入る多さであることから、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、是非、医師の派遣を要望します。	当院は、温暖な気候で過ごしやすい地域である神奈川県西部に位置し、「湘南西部」の中心地である平塚市において、高度急性期医療を展開している病院です。29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積みことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。
1408湘南西部	国家公務員共済組合連合会 平塚共済病院	416	当該診療科の医師が不足しているため。	—
1408湘南西部	伊勢原協同病院	350	産科 医師の高齢化のため	三次救急の大学病院が近くにあり、当院では各医師の専門性を重んじつつも良好なチーム医療により総合的な力を発揮し、二次医療を行っております。ほぼすべての診療科に指導医がおります。
1409県央	東名厚木病院	282	地域医療支援病院として、年間およそ4500台程度の救急車を受入れ救急診療とし地域に貢献してはいますが、その受け入れ窓口となる、内科医・救急医・総合診療医の採用に苦慮しており、医師の負担が増えている現状がある為、これらの診療科の協力を得たい。	様々な疾患の患者さんの診療を行っていただきますので、先生方の経験にも繋がると 생각합니다。脳外科・循環器科などのほとんどの診療科が必要であれば直ぐに来院できるオンコール体制が整っています。また、チーム医療としてメディカルとの連携も取れており、働きやすい職場であると思います。
1409県央	社会医療法人シャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様に誘致頂く形で海老名市に開院致しました。これまで神奈川県東部地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受け入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。平成29年には県央地域初の救命救急センターを開設し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積み重ねることが可能です。
1409県央	社会医療法人シャパンメディカルアライアンス 座間総合病院	352	当院は、座間市の「救急医療の立て直し」という使命の下、市内で3施設目の2次救急病院として平成28年4月にオープン致しました。若い先生方と共に、更なる救急医療の強化を図り、地域貢献して参りたいと考えております。	当院は、グループ施設の海老名総合病院の臨床研修医の受け入れも行っており、研修医からは「一医師として診療にあたることができ、やりがいを感じる」とどの科においてもその様な感想を得ております。経験に関係なく、先生方の力を遺憾なく発揮頂ける環境を整えております。
1409県央	厚木市立病院	347	医師1人あたりの手術件数が多くなっており、医師の負担軽減を図るため。(麻酔科) 常勤医師の高齢化に伴い、新たな常勤医師の確保が急務であるため。(救急科) 常勤の放射線治療医が不在のため。(放射線科)	当院は県央地区の公立の基幹病院として、地域の医療機関との連携を推進するとともに、急性期を中心とした二次医療の提供や、専門性に基づく高度医療の強化に努めています。(地域医療支援病院、感染症指定医療機関、県災害拠点病院、難病医療支援病院、エイズ治療拠点病院、がん診療連携指定病院)
1409県央	医療法人社団 福寿会 愛川北部病院	150	公共交通機関から離れた地域での地域医療を理解し協力していただきたい。	愛川町唯一の病院として、一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟がある。訪問診療、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーションも運営しており、地域医療全体を学ぶには有益である。
1411県西	小田原市立病院	417	当院は、県西地域の基幹病院として、26の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。	当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れています。また、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っています。